

実は...

保護者のみなさまへ

こんなことで困っていませんか？

2つ以上の作業を同時にこなそうとすると混乱してしまふ。

特定のことにこだわり、興味が広がらない。

友だちとの関係の作り方が下手で、トラブルも多い。



急に予定が変わると次に何をしてもよいか分からなくなる。

漢字や英語のスペルがどうしても覚えられない。

プリントや配布物をよくなくしてしまう。

感情的になり、気持ちの切り替えが難しいことがある。

本人の努力だけでは解決できない学習や生活上の困難を抱えている生徒がいます。この中には、発達障がいのある生徒が含まれている可能性もあります。

<LD、ADHD、広汎性発達障がい等の発達障がいの主な特徴>

〔認知や学習上の困難さ〕

聞く・話す・読む・書く・計算する・推論するなどの能力のうち、特定の分野に極端な苦手さがあるなど

〔行動上の困難さ〕

注意力や衝動性、多動性などが年齢や発達に不釣り合いで、生活や学習に支障をきたすことがあるなど

〔社会性の困難さ〕

相手の気持ちを察することや周りの状況に合わせる事が苦手であったり、特定のものにこだわる傾向があったりするなど

このような困難さを抱えている生徒の学校生活の充実や卒業後の進路実現のためには、周囲の理解と適切な支援が必要です。

理解に基づく正しい見方

適切な環境やかかわり

得意な能力を発揮

自尊心の向上
他者への信頼、落ち着き
対人トラブルの減少など



無理解による誤った見方

不適切な環境やかかわり

二次的な問題が派生

自尊心の低下
反抗的・攻撃的行動
引きこもり、不登校など



県立高等学校等では、通級による指導を受けることができます。

福岡県では、県立高等学校及び中等教育学校の後期課程に在籍する発達障がいのある生徒を対象に、在籍校での教育活動に加えて、障がいの状態に応じた特別の指導（通級による指導）を、拠点校4校で実施しています。生徒は、放課後などに拠点校へ行き、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服することを目的とする個別の指導を受けます。

〈北九州地区〉ひびき高等学校

〈福岡地区〉博多青松高等学校

〈筑後地区〉明善高等学校

〈筑豊地区〉嘉穂東高等学校

※拠点校でない学校に在籍していても、拠点校に通って通級による指導を受けることができます。

通級による指導について、詳しくお知りになりたい場合は、在籍されている学校にお尋ねいただくか、福岡県教育庁特別支援教育課（092-643-3914）まで、お問い合わせください。

「ふくおか就学サポートノート」を御存じですか？

※「ふくおか就学サポートノート」に含まれている「引き継ぎシート」を活用することで、小・中・高等学校間でよりスムーズな引き継ぎが可能になります。県立高等学校等においても、生徒一人一人の教育的ニーズに対応するため、特別支援教育を推進しています。

※ふくおか就学サポートノート（引き継ぎシート）

発達障がいの可能性のある場合を含む障がいのある幼児児童生徒などに対する一貫した継続性のある支援を行うために、医療・福祉機関等との連携状況等の基礎情報や支援内容を整理し、就学先に伝えるものです。福岡県庁ホームページで「ふくおか就学サポートノート」を検索するとダウンロードできます。詳しくは、福岡県教育庁特別支援教育課（Tel：092-643-3914）までお問い合わせください。

特別支援教育を推進するための主な支援体制

○ 特別支援教育コーディネーター

高等学校等では、保護者の相談窓口や関係機関との連絡調整など、学校内外のコーディネーター的な役割を担う教員を指名しています。

また、生徒の特性に応じた支援の在り方や支援体制などについて検討を行う校内委員会も設置しています。

○ 専門家による巡回相談

福岡県では、医師や臨床心理士、特別支援学校教諭等で編成した巡回相談チームを設置しており、学校の要請に応じて専門家による助言を受けることができます。各学校にお尋ねください。

○ 児童生徒指導相談室（子どもホットライン24）

相談員が、電話相談やメール等によって必要な教育情報を提供しています。

福岡 092-641-9999

北九州 0949-24-3344

北筑後 0942-32-3000

南筑後 0942-52-4949

筑豊 0948-25-3434

京築 0979-82-4444

メールアドレス（共通）

hotline24@pref.fukuoka.lg.jp



福岡県教育委員会